

曹洞宗（そうとうしゅう）

鏡徳寺報 第17号 (R4.12.31 発行)

住 所 茨城県日立市弁天町3-3-33

電 話 (0294) 21-2049

FAX (0294) 21-2092



六地藏尊開眼法要

初春のお慶びを申し上げます

あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひいたします。
皆さまのご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

お正月のお参りをしましょう

お正月は、お墓参り、お寺参りをしましょう。新年のお誓い、お願ひ事に、どうぞご家族皆さままでお参りください。鏡徳寺では元旦から三日まで早朝にお正月のご祈禱法要をお勤めします（修正会）。四日から鏡開きの八日までの間にお参りいただいた方には修正会でご祈禱したお札をお授けします。（一札千円）

また、毎月十七日は観音様のご縁日で、一月十七日は初観音です。観音様は一切衆生を救うお誓いを立てられた菩薩さまです。新しい年を迎えて初めてのご縁日は特にご功德があるとされています。鏡徳寺の観音様は、平生は扉を閉ざしていますが、一年に一度のこの日のみ御開扉し、十時から観音堂で法要を行います。どうぞお参りください。

お地藏さま開眼法要 厳修

昨年の十一月十七日、六地藏尊と延命地藏尊・水子地藏尊の開眼法要が厳修されました。寺族のほか、お地藏さまの赤いお帽子と前掛けをご寄付いただいた奥平ツルヨさまにもご参列いただきました。

以前からあるお地藏さまは、長年雨風に晒されてお顔が崩れたり、震災の影響で土台が傾いていたりしてご心配する声が寄せられていました。そこで、整地をしておし、新たに六地藏尊をお迎えいたしました。尚、今までのお地藏さまも修復し、場を整えた上で、今後も鏡徳寺境内に奉安する予定です。



檀信徒調査をいたします

今号の寺報と共に、皆さまに「家別過去帳記入用紙」を同封いたしました。

別紙の「記入例」を参照の上、お名前、連絡先、ご自宅のお位牌、お墓に記された故人のお戒名、お名前、続柄等をご記入いただき、同封の返信用封筒にてお寺までご返送をお願いいたします。

鏡徳寺では昭和二十年六月十日の日立空襲の際に、伽藍建物、ご本尊さま、過去帳等の資料を含むすべてを焼失してしまいました。

戦後の混乱期を過ぎた昭和二十七年以降の記録については、ほぼ保存されていますが、昭和二十六年以前の記録は全く残っておりません。お寺の歴史、過去の檀信徒の皆様とそのお戒名など檀信徒の皆様の情報をより正確に記録するため、この檀信徒調査をすることになりました。何卒ご協力お願いいたします。

西インド石窟寺院を巡る旅

鏡徳寺主催で、世界遺産の西インドムンバイ周辺の石窟寺院(六く八世紀)やアジアンタ・エローラ石窟寺院(紀元前二く紀元後六世紀)の観光を企画しました。インドはコロナ禍も収束し、日本からの出入国の手続きはコロナ禍以前とほぼ同様です。全日程添乗員随行。成田空港発。日程は、二〇二三年三月七日から十二日の六日間。旅行代金は、328,000円

(六名催行時。人数が足りない場合は金額の変更があります。諸経費別)

申し込み締め切りは、一月六日です。住職も同行いたします。詳細については、お寺までお電話でお問い合わせください。



エローラ遺跡

鏡徳寺イベント案内

☆坐禅会

毎月第二日曜日、午後二時より拈華堂にて坐禅会を開催しています。(一月・八月除く) お申し込み不要。檀信徒以外の方も可。お気軽にどうぞ。

☆写経会

毎月第二日曜日、午前十時より拈華堂にてお写経会を開催しています。(一月・八月除く) お申し込み、お道具(紙・筆)不要。

☆お悩みききます

誰にも相談できずに苦しんでいるお悩みをお寺でお話しませんか。日程調整がありますので、まずはお問い合わせください。

鏡徳寺一問一答 おしえてお寺さん!



Q. お地藏さまについて教えてください。

A. お地藏さまは、六道(りくどう)すべてで見守ってくださる菩薩さまです。六道とは、すべての生き物がその生き方の結果として輪廻転生するとされる六種の世界をいいます。天人が住まう楽しい事ばかりの天道・人間が住む楽と苦が半々の人間道・怒りと苦しみの絶えない阿修羅が住む修羅道・恥知らずの畜生が住む畜生道・欲の尽きない餓鬼が住む餓鬼道・ただただ苦しむばかりの地獄道、そのすべての世界を見守っています。お釈迦さまが亡くなられた後、五十六億七千万年後の未来に弥勒仏が現われるまでの無仏の時代を託され、強い決意を持って後世悪業の衆生をも見捨てないとの誓願を立てられました。どんな苦境でも私たちを見捨てずに見守り寄り添ってください、ありがたい菩薩さまです。縁日は毎月二十四日。真言はオン・カカカ・ビサンマエ・ソワカです。